

～私たちは3つのミッションを通じて社会に貢献します～

3つのミッション Plus1

私たちは、従来掲げてきた3つのミッションを達成し、社会に貢献することが、会社のさらなる成長につながると考えています。そして、その成長を持続的なものとするために、それらの成果を活用し、海外での事業展開も進めてまいります。

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品事業において
プレゼンスを確立する

Mission
1



高尿酸血症（尿アルカリ化薬）

ウラリットを核として高尿酸血症領域の
フロントランナーとなる

Mission
2



医薬品事業

ジェネリック医薬品 詳細は P11～13

経済的で付加価値の高いジェネリック医薬品を
確かな情報提供力をもってお届けします。

売上高：30,115 百万円

- 自社販売：29,174 百万円
- 導出・輸出*：941 百万円

*当社グループが製造販売承認を有する品目の
他社向け売上

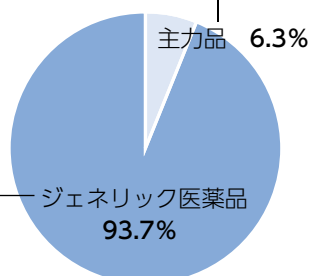
医薬品事業

主力品

詳細は P14・P16

外部機関と協力しながら主力品の新たな活躍
の場を探求しています。

売上高：2,038 百万円



2017 年度 医療用医薬品の売上高構成比

自社開発創薬

画期的な新薬の開発に積極的にチャレンジし、自社開発創薬によって社会に貢献する

Mission
3



海外への展開

3つのミッションの成果をアジアを中心とした海外市場へ展開する

Plus
1

医薬品事業

自社開発創薬

詳細は P15 ~ 16

当社が得意とする高尿酸血症および疼痛などの領域の薬剤開発を中心に、画期的新薬の開発を目指した創薬テーマに積極的にチャレンジしています。

臨床検査機器・試薬

詳細は P4

医療機関と受診者双方のニーズにお応えする臨床検査機器や試薬を開発、販売し、これからの医療をサポートしていきます。

その他

受託試験事業

詳細は P5

医薬品や医療機器の開発における非臨床試験および臨床試験の計画立案から試験実施までフルサポートしていきます。

ヘルスケア事業

詳細は P5

医療用医薬品メーカーとしての信頼と開発ノウハウを活かして、付加価値の高い商品を提供していきます。

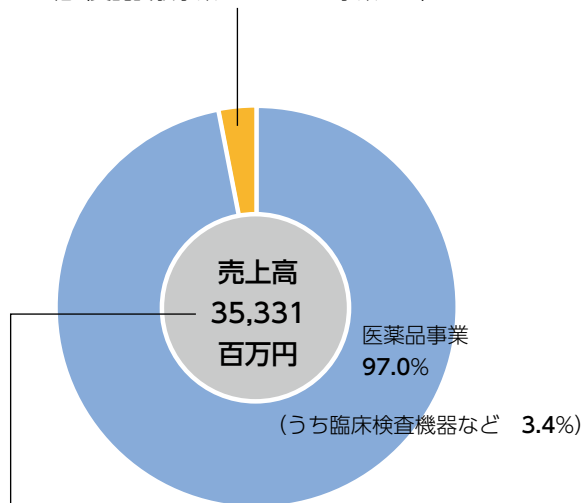
海外事業

詳細は P17

生製能力の強化とコストの低減を目指し、ベトナム工場での生産をスタートさせます。また、中国や ASEAN での販売拡大も進めています。

2017 年度 連結売上高構成比

その他（受託試験事業・ヘルスケア事業など） 3.0%



(事業別売上高)

医薬品事業：34,279 百万円

その他：1,051 百万円

売上高
35,331
百万円

医薬品事業
97.0%

(うち臨床検査機器など 3.4%)

1. 医療用医薬品

医療用医薬品が販売されるまで

研究開発

新薬の開発期間は9～16年、その費用は数百億円、場合によっては一千億円以上かかるといわれています。これに対しジェネリック医薬品は、最短で3～4年、数億円程度で開発が可能のため、先発品（新薬）と同じ効能の薬を安価で販売することができ、国や患者さんの負担軽減に貢献できます。当社では、特長ある新薬の探索とともに、医療関係者や患者さんのニーズを汲みいれ、利便性・安全性に配慮したジェネリック医薬品の自社開発を推進しています。

製造

医薬品は厳格な規制・基準のもとで製造されています。当社グループにおいても、原薬の選定から製品の輸送に至るまでのすべての工程において管理を徹底しています。また、高まる需要に応じるため、全面免震構造を有するつくば工場（日本薬品工業株式会社）3号棟を随時増強することに加え、ベトナム工場においても今秋の本格稼働開始に向けて順調に準備を進めるなど、安定供給の確保やコスト低減への先進的取り組みも行っています。

販売・ 情報提供

製薬企業には、医薬品が発売された後も、薬の適正使用や安全性に関する情報を収集することが義務付けられています。当社では、全国に配置している医薬情報担当者（MR）を通じ、情報提供・収集活動を行っています。収集した医療関係者および患者さんのニーズや、品質・副作用などに関する情報は新たな薬の開発や製品の改良に役立てられます。収集した情報を医療機関や調剤薬局にフィードバックすることも、当社グループの責務であると考えています。

(1) ジェネリック医薬品

患者さんの負担を軽減し、医療保険財政の改善を図るため、政府はジェネリック医薬品の数量シェアを2020年9月末までに80%以上とする目標を掲げています。そのような環境のもと、新薬のみならずジェネリック医薬品の開発・製造・販売のすべてを一貫して手掛けるメーカーである当社は、患者さんや医療関係者のニーズを反映したジェネリック医薬品の開発に取り組んでいます。

また、新薬の販売で培った経験とノウハウを活かし、医薬品を適正に使用していただくための情報提供・収集活動や、研究会を通じた医療関係者へのプロモーション活動を展開しています。

☞ジェネリック医薬品への取り組みに関する詳細はP11

(2) 主力品および自社開発創薬

当社は新薬メーカーとして特長ある製品の開発に取り組んでまいりました。新薬として自社開発した薬剤を「主力品」とカテゴライズしており、現在、アルカリ化療剤「ウラリット-U 配合散・配合錠」、鎮痛・消炎剤「ソレトン錠」、高血

圧症治療剤「カルバン錠」の3製剤を取り扱っております。いずれも発売から長期間を経ていますが、新たな治療分野の可能性を探る臨床研究を進めています。

また、当社が得意とする高尿酸血症および疼痛などの領域を中心に、画期的新薬の開発を目指した創薬テーマに積極的にチャレンジしています。

☞開発中の新薬に関する詳細はP15

2. 臨床検査機器および試薬

アレルギー疾患、生活習慣病の患者数は年々増加の一途をたどっており、当社が提供する製品はスピーディーに検査結果を測定し、いち早い診断・治療計画の作成に大きく貢献しています。当社は、医療機関と受診者双方のニーズにお応えする臨床検査機器や試薬を開発、販売し、これからの医療をサポートしていきます。

また国内にとどまらず、海外へのマーケティング活動を行っており、現在では中国企業との技術提携によるビジネスなどを展開中です。

●アレルギー特異 IgE 測定試薬 オリトン IgE 「ケミファ」



アレルギー疾患の原因となる物質に対する抗体を検査する試薬(体外診断用医薬品)

●アレルギー特異 IgE 測定装置 DiaPack3000



ファーストレポート 12分、90テスト/39分の迅速報告。さらにスピーディーなアレルギー検査を実現しました

● ISO 13485 取得

当社^{※1}は2012年4月、医療機器の品質マネジメントシステム規格であるISO 13485の認証を取得いたしました。厚生労働省の定めるQMS省令^{※2}に加え、国際規格に基づく品質管理体制により、高品質な製品を供給してまいります。



● CE マークの自己宣言

2013年度にDiaPack3000およびオリトンIgE「ケミファ」のCEマークを自己宣言しました。



※1 当社の体外診断用医薬品の設計開発、購買、品質保証及び日本薬品工業(株)つくば工場の体外診断用医薬品の製造に関する部門

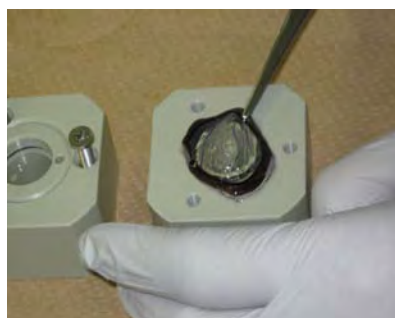
※2 医療機器及び体外診断用医薬品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令

II その他

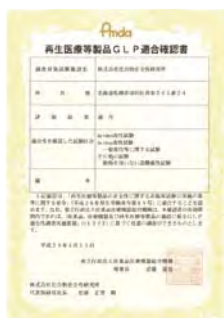
1. 受託試験

当社グループは、医薬品や医療機器などにおける非臨床試験とともに、医薬品開発における臨床試験を通じ、安全で優れた製品の誕生をサポートしております。

グループ会社である株式会社化合物安全性研究所では、動物実験の代替試験法(BCOP法など)や、再生医療分野における試験系の開発に加え、2017年末から日本初の家畜ブタを使用した医療機器のGLP安全性試験を開始するなど、さまざまな先進的な取り組みにチャレンジし続けております。



グループ会社である化合物安全性研究所が、国内で初めて受託事業化したBCOP法(動物実験代替法の1つ)における試験の様子



2016年に取得した再生医療等製品GLP適合確認書

2. ヘルスケア商品

当社が扱うヘルスケア商品は、医薬部外品の各種クリーム、健康食品、化粧品など多岐にわたっています。消費者のセルフメディケーションに対するニーズが高まっている今、医療用医薬品メーカーとしての信頼と開発ノウハウを活かして、皆さまの生活に役立てていただける、付加価値高い商品を提供しています。2017年度には今注目されているスーパーフード「モリンガ」を配合した健康食品「ケミファの青汁モリンガブレンド」を発売しました。

● 医薬部外品 モイスポリアホワイト 手あれの予防クリーム

● 化粧品 SKINDIET 基礎化粧品シリーズ 自然原料を中心とした保湿基礎化粧品

● 健康食品 コエンザイム Q10 ケミファ 美容と健康維持を心がけている方に

● 健康食品 姫マツタケ (岩出 101 株) 健康維持を望む方に

● 健康食品 ケミファの青汁モリンガブレンド 美肌やダイエット、免疫力アップなどを望む方に



2018年2月に発売した「ケミファの青汁モリンガブレンド」